

2006年3月期中間決算 決算短信添付資料

MEET
YOUR
DELIGHT 

2005年10月31日

日本たばこ産業株式会社

当資料取扱上の注意点

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます(なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

■ 2005年度の全社課題

成長戦略の実行と持続的成長に向けた経営活動の推進

■ 2005年度上半期総括

収益基盤の強化等を通じ、中間期は増益を確保
通期の利益見通しも当期純利益を上方修正

3

MEET
YOUR
DELIGHT 

2006年3月期中間決算

■ 業績ハイライト

- ◆ 5期連続の増益(EBITDA、営業利益、経常利益)を更新

(単位：億円)

	2004年9月期 実績	2005年9月期 実績	増減
税込売上高	23,692	23,468	(223)
税抜売上高	10,173	10,086	(87)
EBITDA	2,026	2,276	249
営業利益	1,401	1,652	250
経常利益	1,378	1,583	205
中間純利益	750	1,010	259

4

MEET
YOUR
DELIGHT 

2006年3月期中間決算(事業セグメント別)

■ 国内たばこ事業、海外たばこ事業

- ◆ 国内たばこ事業はマールボロライセンス契約終了等に伴う利益減を収益基盤の強化により克服し、増益
- ◆ 海外たばこ事業は引き続き好調を維持し、増収増益
 - 海外たばこ事業実績は1-6月期を連結

(単位:億円)

	2004年9月期 実績	2005年9月期 実績	増減
国内たばこ事業売上高(税抜)	6,183	6,023	(160)
国内たばこ事業EBITDA	1,507	1,610	102
国内たばこ事業営業利益	1,111	1,166	54
海外たばこ事業売上高(税抜)	2,083	2,280	197
海外たばこ事業EBITDA	342	476	133
海外たばこ事業営業利益	241	367	126

5

MEET
YOUR
DELIGHT 

2006年3月期中間決算(事業セグメント別)

■ 医薬事業、食品事業

- ◆ 医薬事業は導出に伴う一時金の計上により、営業損益が改善
- ◆ 食品事業は利益計画達成に向け、順調に進捗

(単位:億円)

	2004年9月期 実績	2005年9月期 実績	増減
医薬事業売上高	256	254	(2)
医薬事業EBITDA	(10)	0	10
医薬事業営業利益	(28)	(16)	12
食品事業売上高	1,348	1,410	62
食品事業EBITDA	44	58	13
食品事業営業利益	16	31	15

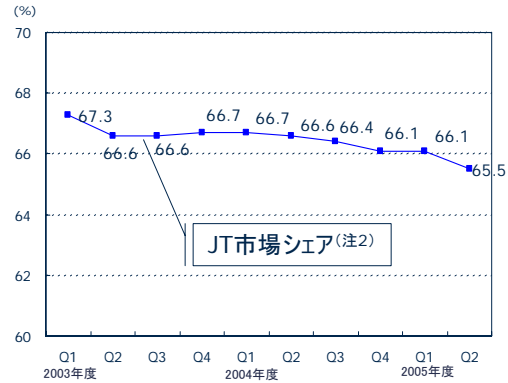
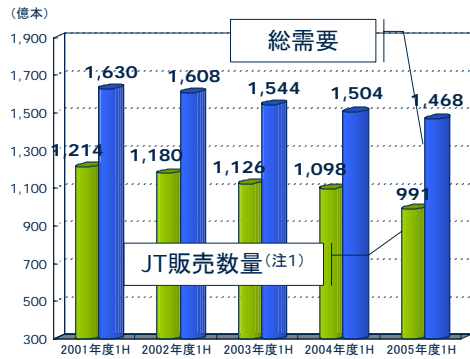
6

MEET
YOUR
DELIGHT 

国内たばこ事業

成長戦略の実行と一層のコスト競争力強化

■ 総需要が弱含みで推移する中、シェア競争が激化



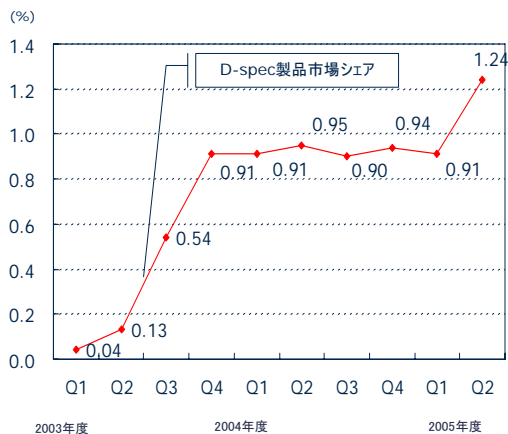
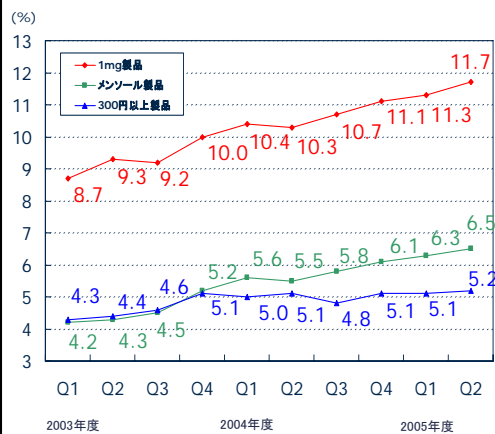
(注1) JTオリジナルブランド + 2005年4月末までのマルポロ + 2005年5月以降のJT1の国内向け製品(キャメル・ウinston・セラム等)
 (注2) JTオリジナルブランド + JT1の国内向け製品(キャメル・ウinston・セラム等)

7



国内たばこ事業

■ 1mg製品セグメント及びD-spec製品のシェアは着実に伸張



(注1) 図中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。
 (注2) JT販売数量、JT市場シェア: JTオリジナルブランド + JT1の国内向け製品(キャメル・ウinston・セラム等)

8



国内たばこ事業

上半期の取り組み

商品戦略

- ◆旧JT1製品の日本市場統合
- ◆新製品投入
 - 7月よりテストマーケットに新製品13銘柄投入
 - 9月よりD-spec2銘柄を全国拡販



今後の取り組み

- ◆ピアノシモ・ベシエ・メンソール・ワンの全国拡販
- ◆全国拡販した銘柄^(※)の一層の市場浸透
 - ※セブンスター・レボ・ライト・メンソール、ルーシア・シトラスフレッシュ・メンソール・ワン
- ◆D-specカテゴリーの確立

営業・流通戦略

- ◆自販機におけるJT製品の露出拡大
- ◆MCT1自販機の活用



- ◆自販機販路における競争力の強化
- ◆販売店との一層の関係強化
- ◆データベース・マーケティングの活用

コスト競争力強化

- ◆全国10工場体制への円滑な移行



- ◆国際競争力ある加工費の実現

国内たばこ事業

■ 2006年3月期業績予想

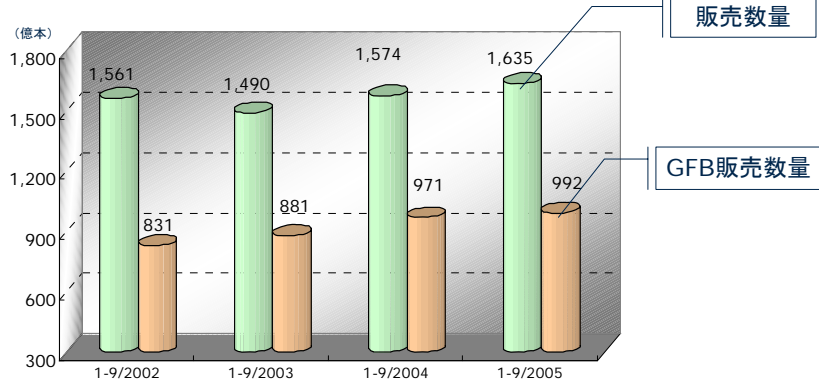
- 対前年実績
 - マールポロのライセンス契約終了に伴う販売数量減等の影響を克服し、増益を見込む。
- 対当初見込
 - 総需要の減少及びシェア競争の激化、葉たばこ評価洗替差損益の悪化を踏まえ、下方修正

	05年3月期 実績	06年3月期 中間時見込	差異	%	06年3月期 当初見込
販売数量(億本)	2,132	1,910	(222)	-10.4%	1,950
税込売上高(億円)	34,914	34,080	(834)	-2.3%	34,470
EBITDA(億円)	2,960	3,100	139	4.7%	3,180
営業利益(億円)	2,158	2,240	81	3.7%	2,320

海外たばこ事業

GFBのブランド価値の強化と中核市場への集中

■ GFB販売数量、販売数量ともに順調に推移



GFB: Global Flagship Brand (CAMEL, Winston, MILD SEVEN, Salem)

11

MEET YOUR DELIGHT JT

海外たばこ事業

■ 2005年業績予想

- > 対前年実績
 - 20%超のEBITDA^(注)成長を見込み、5年連続となる二桁成長を継続
(注)JTへのロイヤリティー支払前EBITDA
- > 対当初見込
 - フィリピン等における増税影響により販売数量を見直したものの、利益面では上方修正

	2004年 実績	2005年 今回見込	差異	%	2005年 当初見込
販売数量(億本)	2,124	2,190	66	3.1%	2,220
GFB 販売数量(億本)	1,314	1,340	26	2.0%	1,370
税込売上高(億円)	7,927	8,700	772	9.7%	8,500
EBITDA(億円)	654	880	225	34.5%	790
営業利益(億円)	444	660	215	48.6%	570
JTへのロイヤリティー支払前					
EBITDA(億円)	802	1,020	217	27.1%	920
円ドルレート(円)	108.23	108.00	(0.23)		105.00

12

MEET YOUR DELIGHT JT

医薬事業、食品事業

■ 医薬事業

「世界レベルの新薬になりうる化合物の3品目臨床入り」を達成

(単位:億円)

	05年3月期 実績	06年3月期 今回見込	差異	%	05年3月期 当初見込
売上高	576	475	(101)	-17.5%	475
EBITDA	54	(55)	(109)	-	(55)
営業利益	18	(85)	(103)	-	(85)

■ 食品事業

黒字体質を確固たるものにするともに、更なる事業価値増大を目指す

(単位:億円)

	05年3月期 実績	06年3月期 今回見込	差異	%	05年3月期 当初見込
売上高	2,653	2,760	106	4.0%	2,760
EBITDA	79	105	25	32.9%	105
営業利益	19	50	30	163.1%	50

2006年3月期業績予想

■ 2006年3月期業績予想

- ▶ 対前年実績
 - EBITDA、営業利益、経常利益、当期純利益いずれも過去最高益を更新する見込
- ▶ 対当初見込
 - EBITDA、営業利益は当初見込水準を維持し、当期純利益は上方修正

(単位:億円)

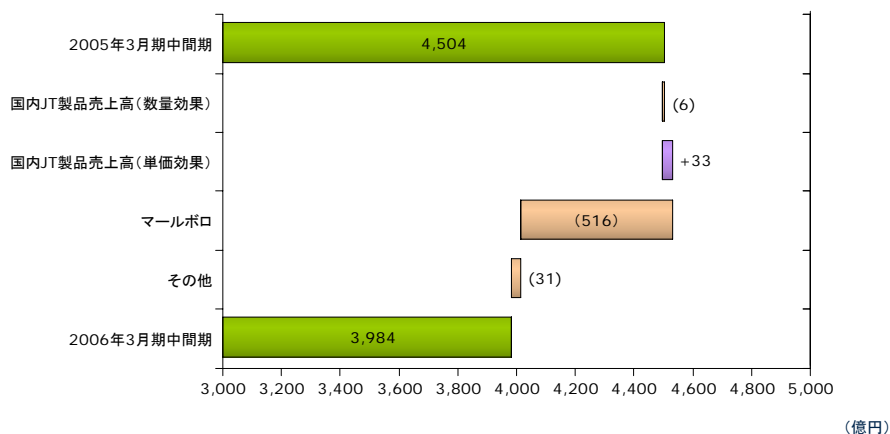
	05年3月期 実績	06年3月期 中間時見込	増減	06年3月期 当初見込
売上高	46,645	46,200	(445)	46,400
EBITDA	4,001	4,240	238	4,230
営業利益	2,733	2,980	246	2,970
経常利益	2,702	2,910	207	2,930
当期純利益	625	1,890	1,264	1,800
ROE(%)	4.2	11.9	7.7	11.4
FCF	2,694	1,060	(1,634)	1,080

【参考資料】
2006年3月期中間期実績及び2006年3月期
業績予想における増減要因の分析



2006年3月期中間期実績

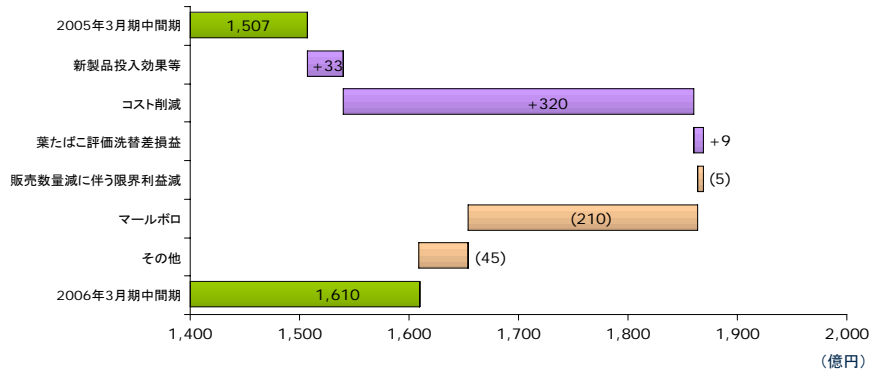
⚡ 国内たばこ事業税抜売上高^(注) 4,504億円→3,984億円(520億円減)
 ◆ (注) 輸入たばこを除く



⚡ 国内たばこ事業税抜売上高 6,183億円→6,023億円(160億円減)

2006年3月期中間期実績

■ 国内たばこ事業EBITDA 1,507億円→1,610億円(102億円増)



■ 国内たばこ事業営業利益 1,111億円→1,166億円(54億円増)

◆ 減価償却費^(注) 395億円→443億円(48億円増)

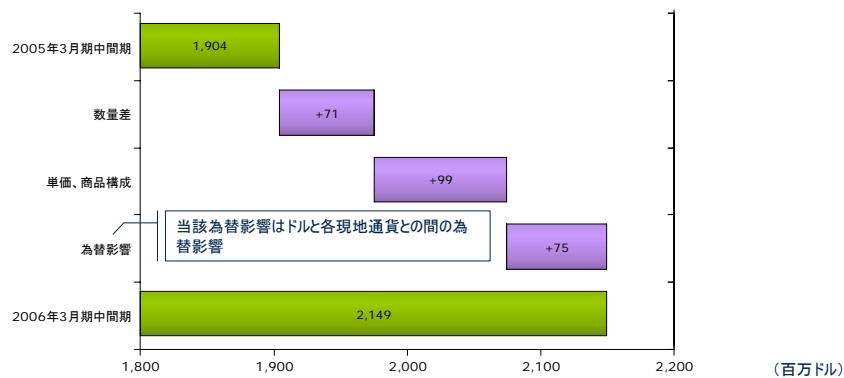
(注)減価償却費=有形固定資産償却費+無形固定資産償却費+長期前払費用償却費+連結調整勘定償却額

17

MEET
YOUR
DELIGHT JT

2006年3月期中間期実績

■ 海外たばこ事業税抜売上高 1,904百万ドル→2,149百万ドル(245百万ドル増)



(参考) 海外たばこ事業税抜売上高 2,083億円→2,280億円(197億円増)

◆ 連結円ドルレート 108.50円→106.16円(2.34円高)

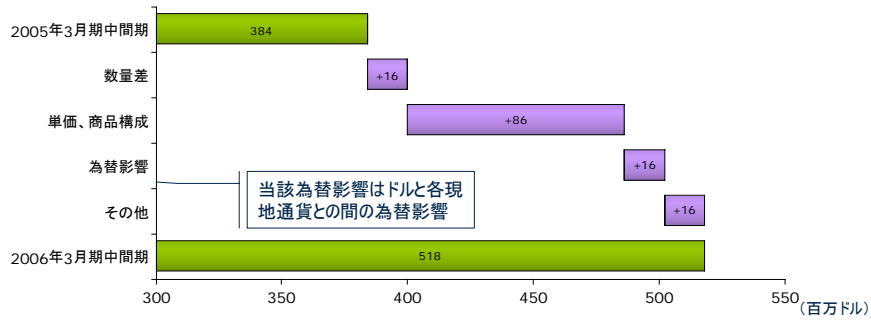
18

MEET
YOUR
DELIGHT JT

2006年3月期中間期実績

■ 海外たばこ事業EBITDA(注1) 384百万ドル→518百万ドル(134百万ドル増)

◆ (注1)ロイヤリティ支払前



(参考)セグメント情報ベース

海外たばこ事業EBITDA 342億円→476億円(133億円増)

海外たばこ事業営業利益 241億円→367億円(126億円増)

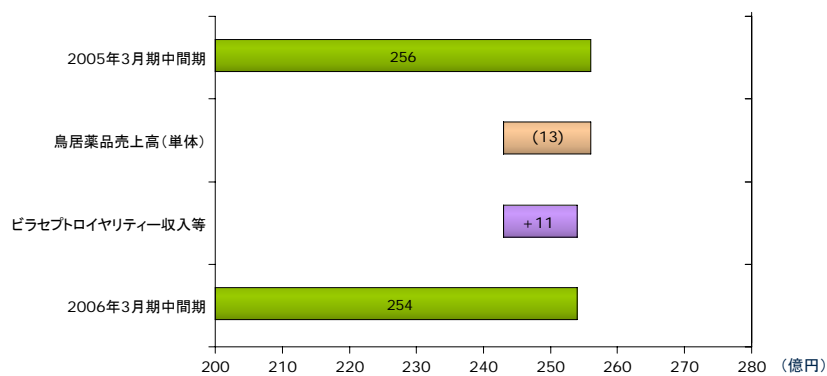
◆ 減価償却費(注2) 101億円→108億円(7億円増)

◆ 連結円ドルレート 108.50円→106.16円(2.34円高)

(注2)減価償却費=有形固定資産償却費+無形固定資産償却費+長期前払費用償却費+連結調整勘定償却額

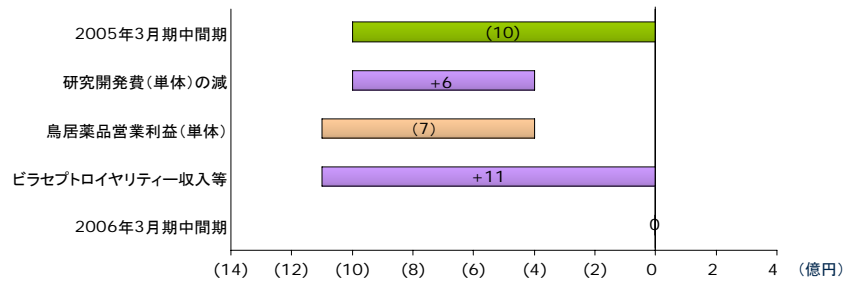
2006年3月期中間期実績

■ 医薬事業売上高 256億円→254億円(2億円減)



2006年3月期中間期実績

■ 医薬事業EBITDA $\Delta 10$ 億円 $\rightarrow 0$ 億円(10億円増)



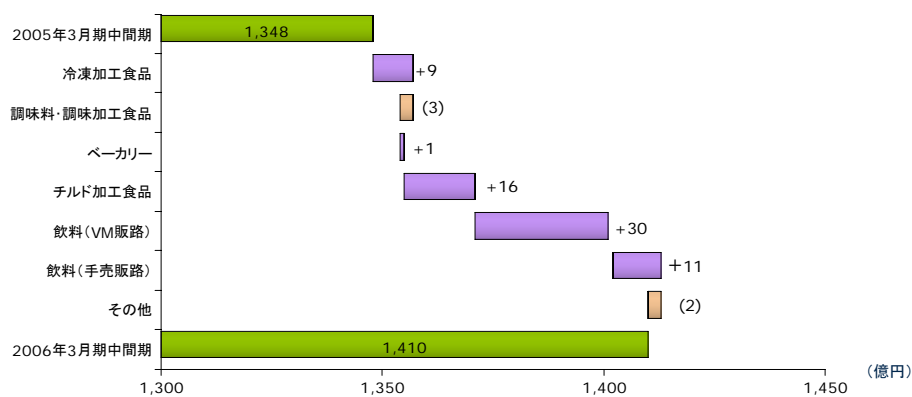
■ 医薬事業営業利益 $\Delta 28$ 億円 $\rightarrow \Delta 16$ 億円(12億円増)

◆ 減価償却費(注) 18億円 $\rightarrow 16$ 億円(1億円減)

(注) 減価償却費=有形固定資産償却費+無形固定資産償却費+長期前払費用償却費+連結調整勘定償却額

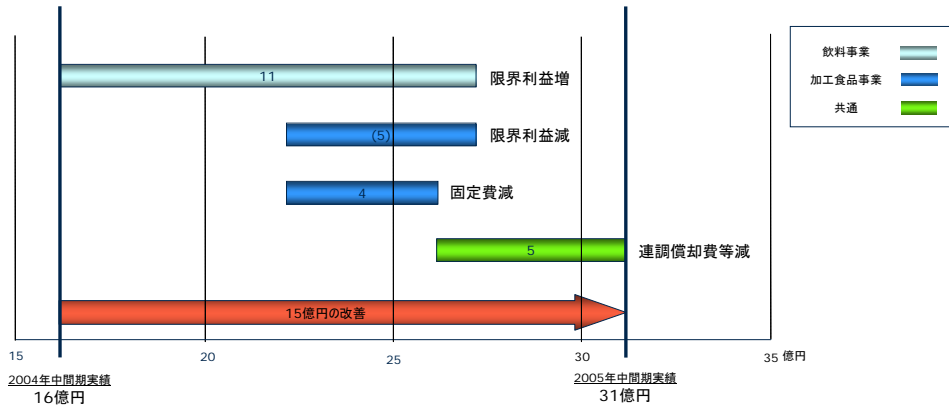
2006年3月期中間期実績

■ 食品事業売上高 1,348億円 $\rightarrow 1,410$ 億円(62億円増)



2006年3月期中間期実績

■ 食品事業営業利益 16億円→31億円(15億円増)



■ 食品事業EBITDA 44億円→58億円(13億円増)

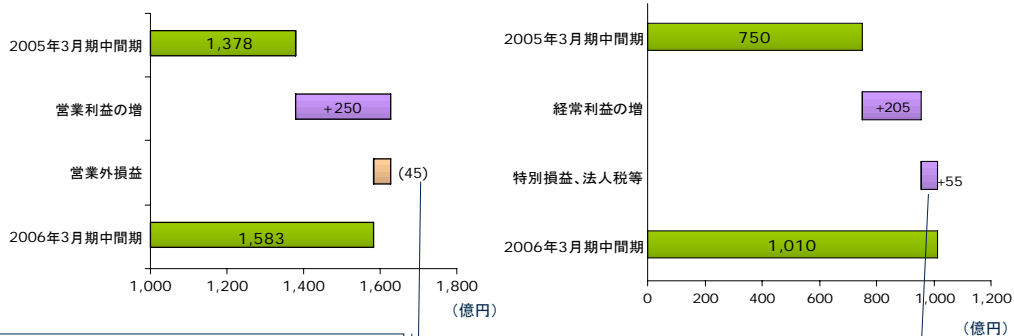
◆ 営業利益(15億円増)、うち減価償却費(注)の影響(1億円減)

(注)減価償却費=有形固定資産償却費+無形固定資産償却費+長期前払費用償却費+連結調整勘定償却額

2006年3月期中間期実績

■ 経常利益 1,378億円→1,583億円(205億円増)

■ 中間期純利益 750億円→1,010億円(259億円増)



改善要因: 受取利息の増(+7億円)、たばこ災害援助金の減(+3億円)、受取配当金の増(+1億円)等
悪化要因: 為替差損益の悪化(△38億円)、共済年金費用の増(△3億円)、支払利息の増(△1億円)等

改善要因: 事業構造強化費用の減(+592億円)、固定資産除却損の減(+22億円)等
悪化要因: 固定資産売却損の増(△232億円)、固定資産売却益の減(△130億円)等

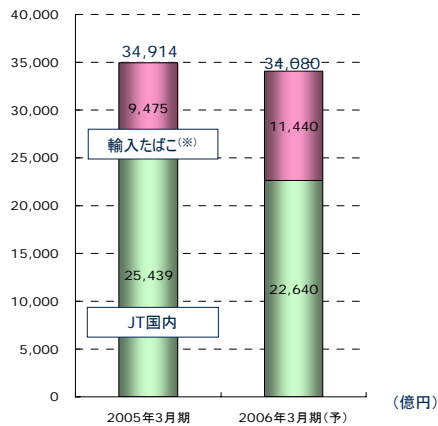
2006年3月期業績予想_対前年度実績

■ 国内たばこ事業売上高(注) 25,439億円→22,640億円(2,799億円減)

◆ (注) 輸入たばこを除く

■ 国内たばこ事業売上高 34,914億円→34,080億円(834億円減)

※連結決算上、国内たばこ事業売上高には、子会社であるTSネットワーク(株)が取り扱う輸入たばこ製品の売上高を含んでいる。



【主な増加要因】

・輸入たばこの増(2005年5月以降のマルポロを含む)
9,475億円→11,440億円(+1,964億円)

【主な減少要因】

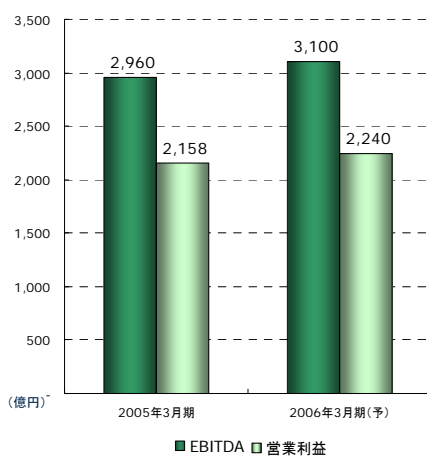
・販売数量の前提 2,132億本→1,910億本(△222億本)

25

MEET
YOUR
DELIGHT JT

2006年3月期業績予想_対前年度実績

■ 国内たばこ事業EBITDA 2,960億円→3,100億円(139億円増)



【主な増加要因】

・JT販売数量の増* (+16億本) +約45億円
*JTオリジナル製品+2005年5月以降の国内向けJT1製品
・コスト削減 +約570億円
・葉たばこ評価洗替差損益の改善 +71億円
・単価アップ

【主な減少要因】

・マルポロ販売数量の減(△238億本) △約480億円
・販促費の増
・その他

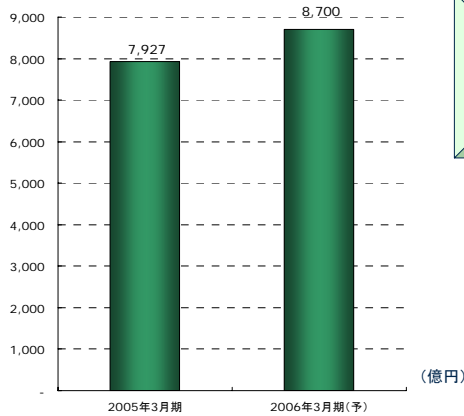
■ 国内たばこ事業営業利益 2,158億円→2,240億円(81億円増)

26

MEET
YOUR
DELIGHT JT

2006年3月期業績予想_対前年度実績

■ 海外たばこ事業売上高 7,927億円→8,700億円(772億円増)



【主な増加要因】
 ・単価の上昇および商品構成の改善
 ・たばこ税の増
 ・販売数量の増

(参考) 連結円ドルレート 108.23円→108.00円(0.23円高)

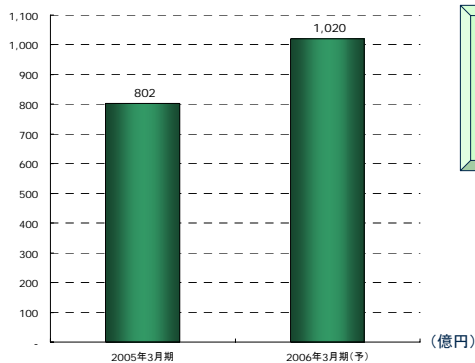
27

MEET
YOUR
DELIGHT JT

2006年3月期業績予想_対前年度実績

■ 海外たばこ事業EBITDA(注) 802億円→1,020億円(217億円増)

◆ (注)ロイヤリティ支払前



【主な増加要因】
 ・単価の上昇および商品構成の改善
 ・販売数量の増

(参考)セグメント情報ベース

海外たばこ事業EBITDA 654億円→880億円(225億円増)

海外たばこ事業営業利益 444億円→660億円(215億円増)

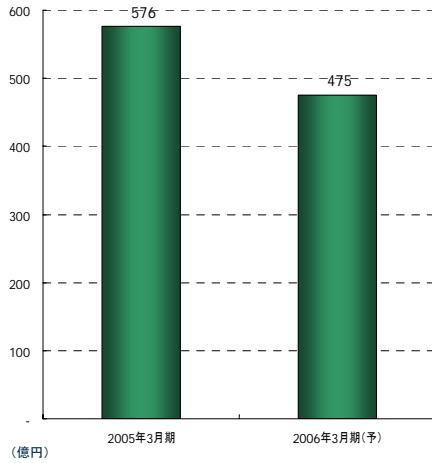
◆ 連結円ドルレート 108.23円→108.00円(0.23円高)

28

MEET
YOUR
DELIGHT JT

2006年3月期業績予想__対前年度実績

■ 医薬事業売上高 576億円→475億円(101億円減)



【主な増加要因】

・05年度:JTK-303導出に伴う一時的収入 15百万ドル

【主な減少要因】

04年度:JTT-705導出に伴う一時的収入
ピラセプトロイヤリティーの減
鳥居薬品の減 419億円→406億円 Δ13億円

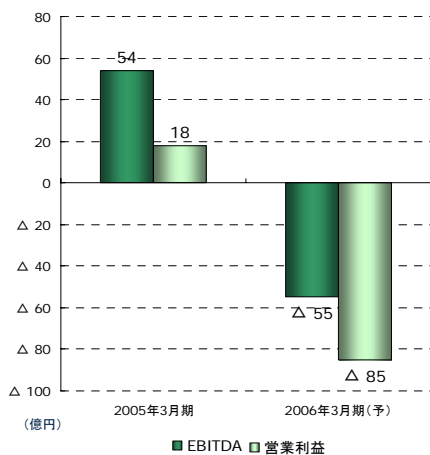
29

MEET
YOUR
DELIGHT JT

2006年3月期業績予想__対前年度実績

■ 医薬事業EBITDA 54億円→△55億円(109億円減)

■ 医薬事業営業利益 18億円→△85億円(103億円減)



【主な増加要因】

・05年度:JTK-303導出に伴う一時的収入 15百万ドル

【主な減少要因】

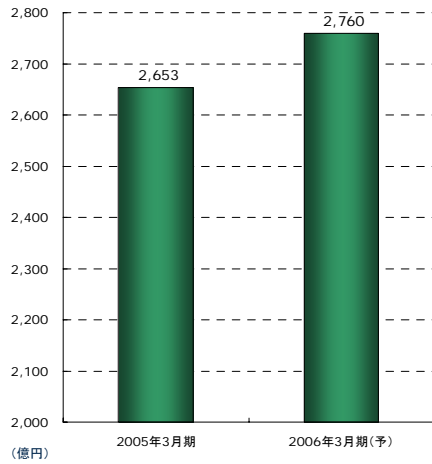
・04年度:JTT-705導出に伴う一時的収入
・ピラセプトロイヤリティーの減
・鳥居薬品営業利益の減 84億円→72億円 Δ12億円

30

MEET
YOUR
DELIGHT JT

2006年3月期業績予想__対前年度実績

■ 食品事業売上高 2,653億円→2,760億円(106億円増)



【主な増加要因】

- ・加工食品事業における増
- ・飲料事業における自動販売機販路を中心とした増

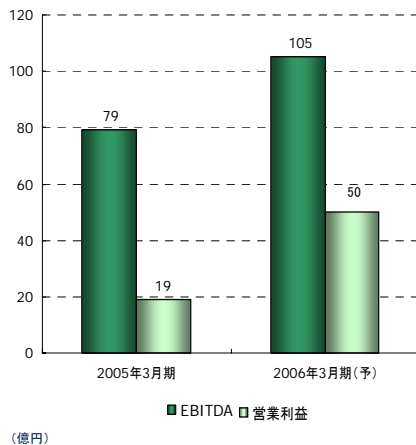
31

MEET
YOUR
DELIGHT JT

2006年3月期業績予想__対前年度実績

■ 食品事業EBITDA 79億円→105億円(25億円増)

■ 食品事業営業利益 19億円→50億円(30億円増)



【主な増加要因】

- ・事業規模の拡大に伴う限界利益の増
- ・事業全般にわたる経費の節減、効率化の推進

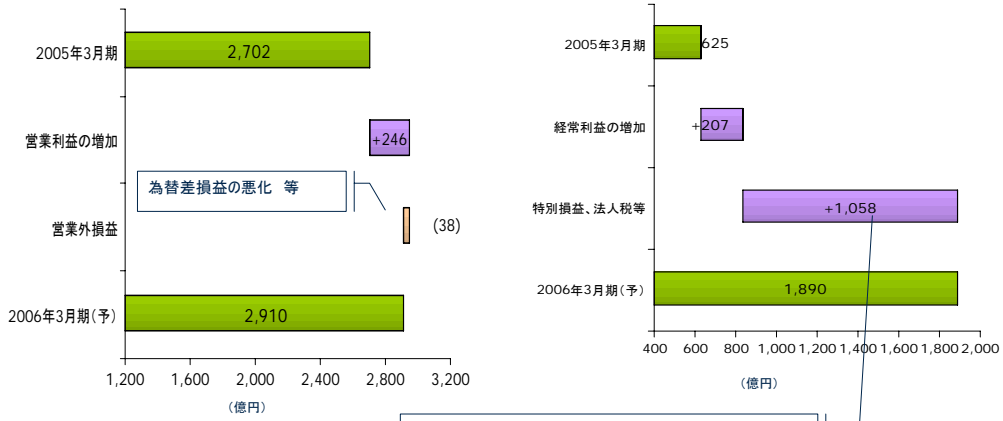
32

MEET
YOUR
DELIGHT JT

2006年3月期業績予想_対前年度実績

■ **経常利益** 2,702億円→2,910億円(207億円増)

■ **当期純利益** 625億円→1,890億円(1,264億円増)



改善要因: 04年度: 事業構造強化費用 2,248億円
04年度: 葉たばこ廃作協力金 42億円 等

悪化要因: 固定資産除売却損益の悪化 等

2006年3月期 中間決算データ集

1. 売上高の内訳

(単位: 億円)

	04年4-9月期	05年4-9月期	増減
全社税込売上高	23,692	23,468	△ 223
国内たばこ事業	17,947	17,511	△ 436
除く輸入たばこ	13,104	11,746	△ 1,358
海外たばこ事業	3,839	4,176	336
全社税抜売上高(除く輸入たばこ)	8,494	8,046	△ 447
国内たばこ事業	4,504	3,984	△ 520
海外たばこ事業	2,083	2,280	197
医薬事業	256	254	△ 2
食品事業	1,348	1,410	62
飲料事業	922	964	41
加工食品事業	425	446	21
その他事業	300	116	△ 184

※海外たばこ事業は、1-6月期の実績

2. 葉たばこ評価洗替差損益(注)

(単位: 億円)

	04年4-9月期	05年4-9月期	増減
葉たばこ評価洗替差損益	23	13	△ 9

(注): マイナス表示の場合は評価益

3. 販売費及び一般管理費の内訳

(単位: 億円)

	04年4-9月期	05年4-9月期	増減
販売費及び一般管理費	3,408	2,983	△ 424
人件費(注1)	930	766	△ 164
広告宣伝費	145	116	△ 28
販売促進費	689	720	31
研究開発費	204	183	△ 20
減価償却費	269	265	△ 4
その他(注2)	1,169	931	△ 238

(注1): 人件費=報酬・給料手当+退職給付費用+法定福利費+従業員賞与+賞与引当金繰入額
(注2): その他の中にはマルボロライセンス契約に伴う特許権使用料などが含まれており、当該金額は、2005年4-9月期57億円、2004年4-9月期237億円。

4. 事業セグメント別EBITDA(注1)

(単位: 億円)

	04年4-9月期	05年4-9月期	増減
全社EBITDA	2,026	2,276	249
営業利益	1,401	1,652	250
減価償却費(注2)	625	623	△ 1
うち連結調整勘定償却額	4	7	3
国内たばこ事業EBITDA	1,507	1,610	102
営業利益	1,111	1,166	54
減価償却費(注2)	395	443	48
うち連結調整勘定償却額	0	5	5
海外たばこ事業EBITDA	342	476	133
営業利益	241	367	126
減価償却費(注2)	101	108	7
医薬事業EBITDA	△ 10	0	10
営業利益	△ 28	△ 16	12
減価償却費(注2)	18	16	△ 1
食品事業EBITDA	44	58	13
営業利益	16	31	15
減価償却費(注2)	28	27	△ 1
うち連結調整勘定償却額	4	2	△ 1
その他事業EBITDA	143	110	△ 33
営業利益	59	40	△ 19
減価償却費(注2)	83	69	△ 13
うち連結調整勘定償却額	0	-	△ 0

(参考) (単位: 百万ドル)

	04年4-9月期	05年4-9月期	増減
海外たばこ事業EBITDA(ロイヤリティー支払前)	384	518	134

(注1): EBITDA=営業利益+減価償却費(注2)
(注2): 減価償却費=有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及び連結調整勘定の償却費
※海外たばこ事業は、1-6月期の実績

5. 主要投資案件の諸償却費

(単位: 億円)

	04年4-9月期	05年4-9月期	償却年数	終了
JTインターナショナル	166	172	-	-
商標権(JT保有分)	146	146	10年	09年4月
特許権(JT保有分)	19	19	8年	07年4月
連結調整勘定(注)	-	5	20年	25年3月
旧旭化成食品事業	0	0	-	-
商標権	0	0	10年	09年6月
特許権	0	0	8年	07年6月
ジャパンビハレッジ	4	1	5年	07年3月
連結調整勘定	4	1	5年	07年3月

(注): USGAAPにおける減損会計の導入により、2002年3月期をもって、JTインターナショナルにおける定期・定額の連結調整勘定償却は終了。以降は毎年、減損テストを行った上で、減損金額を決定している。なお、2005年度より、国内たばこ事業セグメントに割り当てた当該連結調整勘定の一部について、20年で償却を開始した。

6. 資本的支出

(単位: 億円)

	04年4-9月期	05年4-9月期	増減
資本的支出	408	494	85
国内たばこ事業	223	550	327
海外たばこ事業	78	108	29
医薬事業	9	9	△ 0
食品事業	39	20	△ 18
その他事業	61	69	8

7. 手元流動性(注)

(単位: 億円)

	05年3月末	05年9月末	増減
手元流動性	8,636	9,042	405

(注): 手元流動性=現金+有価証券+CP現金

8. 有利子負債(注)

(単位: 億円)

	05年3月末	05年9月末	増減
有利子負債	2,307	2,268	△ 38

(注): 有利子負債=短期借入金+社債+長期借入金

9. 主な事業関連計数

【国内たばこ事業】	04年4-9月期	05年4-9月期	増減
JT販売数量(注)	1,098	991	△ 107 億本
国内総需要	1,504	1,468	△ 36 億本
JT販売数量シェア	73.0%	67.5%	△ 5.5%pt
JT千本当税込売上高	11,755	11,684	△ 71 円
JT千本当税抜売上高	3,941	3,874	△ 67 円

(注): JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。当該数量は、2005年4-9月期16億本、2004年4-9月期30億本。

【海外たばこ事業】	04年1-6月期	05年1-6月期	増減
販売数量	1,015	1,046	31 億本
GFB販売数量	627	644	16 億本
連結円ドルレート	108.50	106.16	△ 2.34 円

【医薬事業】	04年4-9月期	05年4-9月期	増減
ヒラセプトロイリティー収入	29	25	△ 3 百万ドル
研究開発費(単体)	101	94	△ 6 億円

【食品事業-飲料事業】	05年3月末	05年9月末	増減
自動販売機台数(注)	226,000	234,500	8,500 台
うちマーキング機	44,500	42,500	△ 2,000 台
うちコンビ機	54,000	59,500	5,500 台

(注): 自動販売機台数には、関係会社が運営する他社機(缶・ブリック等)及びカップ機を含む。「マーキング機」とは当社所有の自動販売機を指し、「コンビ機」とは関係会社所有で他社の製品も取り扱っているが、JT製品の露出を積極的に行う自動販売機を指す。

10. 従業員数(注)

(単位: 人)

	05年3月末	05年9月末	増減
従業員数(連結)	32,640	32,200	△ 440
国内たばこ事業	たばこ事業	12,460	n.a.
海外たばこ事業	24,350	11,810	n.a.
医薬事業	1,566	1,585	19
食品事業	5,357	5,303	△ 54
その他事業	706	677	△ 29
全社共通業務	661	365	△ 296
従業員数(単体)	10,124	9,632	△ 492
在籍ベース従業員数(単体)	11,300	10,824	△ 476

※従業員数は就業人員ベース

2006年3月期 中間決算データ集(2)

1. 2006年3月期連結業績予想(当初見込比較)

(単位:億円)

	当初見込	中間時見込	増減
税込売上高	46,400	46,200	△ 200
除く輸入たばこ	35,060	34,760	△ 300
EBITDA	4,230	4,240	10
営業利益	2,970	2,980	10
経常利益	2,930	2,910	△ 20
当期純利益	1,800	1,890	90
ROE(株主資本利益率)	11.4%	11.9%	0.5%pt
フリーキャッシュフロー ^(注)	1,080	1,060	△ 20

(注):フリーキャッシュフロー=(営業活動CF+投資活動CF)但し、以下の項目を除外する。

営業活動CFから

受取配当金/受取利息とその税影響額(42%)

支払利息とその税影響額(42%)

投資活動CFから

有価証券取得による支出/有価証券売却による収入

投資有価証券取得による支出/投資有価証券売却による収入/その他

上記の計算方式に従って計算したフリーキャッシュフローと表中のフリーキャッシュフローとの開差は投資有価証券の取得及び売却に含まれる事業投資株式によるもの。

(単位:億円)

	当初見込	中間時見込	増減
資本的支出	1,090	1,070	△ 20
国内たばこ事業	たばこ事業	810	n.a.
海外たばこ事業	820億円	260	n.a.
医薬事業	20	20	0
食品事業	50	50	0
その他事業	200	200	0

事業セグメント別業績予想

(単位:億円)

	当初見込	中間時見込	増減
税込売上高	46,400	46,200	△ 200
国内たばこ事業	34,470	34,080	△ 390
除く輸入たばこ	23,130	22,640	△ 490
海外たばこ事業	8,500	8,700	200
医薬事業	475	475	0
食品事業	2,760	2,760	0
EBITDA	4,230	4,240	10
国内たばこ事業	3,180	3,100	△ 80
海外たばこ事業	790	880	90
医薬事業	△ 55	△ 55	0
食品事業	105	105	0
営業利益	2,970	2,980	10
国内たばこ事業	2,320	2,240	△ 80
海外たばこ事業	570	660	90
医薬事業	△ 85	△ 85	0
食品事業	50	50	0

【参考】単体業績予想

(単位:億円)

	当初見込	中間時見込	増減
税込売上高	24,300	23,800	△ 500
経常利益	2,010	2,020	10
当期純利益	1,190	1,320	130

(単位:円)

	当初見込	中間時見込	増減
1株当り年間配当金	14,000	14,000	0

業績予想の主な前提条件

(1) 国内たばこ事業

(単位:億本)

	当初見込	中間時見込	増減
販売数量	1,950	1,910	△ 40

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

(2) 海外たばこ事業

(単位:億本、百万ドル)

	当初見込	中間時見込	増減
販売数量	2,220	2,190	△ 30
GFB販売数量	1,370	1,340	△ 30
1USDドル	105.00	108.00	3.00

2. 2006年3月期連結業績予想(前期実績比較)

(単位:億円)

	前期実績	中間時見込	増減
税込売上高	46,645	46,200	△ 445
除く輸入たばこ	37,169	34,760	△ 2,409
EBITDA	4,001	4,240	238
営業利益	2,733	2,980	246
経常利益	2,702	2,910	207
当期純利益	625	1,890	1,264
ROE(株主資本利益率)	4.2%	11.9%	7.7%pt
フリーキャッシュフロー ^(注)	2,694	1,060	△ 1,634

(注):フリーキャッシュフロー=(営業活動CF+投資活動CF)但し、以下の項目を除外する。

営業活動CFから

受取配当金/受取利息とその税影響額(42%)

支払利息とその税影響額(42%)

投資活動CFから

有価証券取得による支出/有価証券売却による収入

投資有価証券取得による支出/投資有価証券売却による収入/その他

上記の計算方式に従って計算したフリーキャッシュフローと表中のフリーキャッシュフローとの開差は投資有価証券の取得及び売却に含まれる事業投資株式によるもの。

(単位:億円)

	前期実績	中間時見込	増減
資本的支出	851	1,070	218
国内たばこ事業	たばこ事業	810	n.a.
海外たばこ事業	652億円	260	n.a.
医薬事業	31	20	△ 11
食品事業	73	50	△ 23
その他事業	106	200	93

事業セグメント別業績予想

(単位:億円)

	前期実績	中間時見込	増減
税込売上高	46,645	46,200	△ 445
国内たばこ事業	34,914	34,080	△ 834
除く輸入たばこ	25,439	22,640	△ 2,799
海外たばこ事業	7,927	8,700	772
医薬事業	576	475	△ 101
食品事業	2,653	2,760	106
EBITDA	4,001	4,240	238
国内たばこ事業	2,960	3,100	139
海外たばこ事業	654	880	225
医薬事業	54	△ 55	△ 109
食品事業	79	105	25
営業利益	2,733	2,980	246
国内たばこ事業	2,158	2,240	81
海外たばこ事業	444	660	215
医薬事業	18	△ 85	△ 103
食品事業	19	50	30

【参考】単体業績予想

(単位:億円)

	前期実績	中間時見込	増減
税込売上高	26,859	23,800	△ 3,059
経常利益	1,941	2,020	78
当期純利益	270	1,320	1,049

(単位:円)

	前期実績	中間時見込	増減
1株当り年間配当金	13,000	14,000	1,000

業績予想の主な前提条件

(1) 国内たばこ事業

(単位:億本)

	前期実績	中間時見込	増減
販売数量	2,132	1,910	△ 222

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

(2) 海外たばこ事業

(単位:億本、百万ドル)

	前期実績	中間時見込	増減
販売数量	2,124	2,190	66
GFB販売数量	1,314	1,340	26
1USDドル	108.23	108.00	△ 0.23

国内たばこ事業データ集

(注1)：表中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。

(注2)：従来ベース：JTオリジナルブランド + 2005年4月末までのマールポロ + 2005年5月以降のJTIの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セラム等)

新ベース：JTオリジナルブランド + JTIの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セラム等)

国内たばこ事業関連係数

1. 四半期別販売数量

(単位：億本)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2003年度	656	470	564	492	2,183
2004年度	542	556	556	477	2,132
2005年度	505	485			

(注)：上記の数値には、2005年4月末までのマールポロ販売数量及び2005年5月以降のJTIの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セラム等)の販売数量を含みます。

2. 四半期別定価代金

(単位：億円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2003年度	8,361	6,482	7,775	6,789	29,409
2004年度	7,480	7,670	7,675	6,589	29,416
2005年度	6,947	6,642			

(注1)：販売定価代金 = 販売数量 × 小売定価

(注2)：上記の数値には、2005年4月末までのマールポロ販売数量及び2005年5月以降のJTIの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セラム等)の販売数量を含みます。

3. 四半期別千本当売上高

(単位：円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2003年度	10,856	11,732	11,746	11,759	11,478
2004年度	11,754	11,755	11,752	11,765	11,756
2005年度	11,715	11,653			

(注)：本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。

千本当売上高 = (販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税) / 販売数量 × 1,000

4. 四半期別千本当税抜売上高

(単位：円)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2003年度	3,850	3,923	3,934	3,943	3,908
2004年度	3,940	3,942	3,937	3,946	3,941
2005年度	3,901	3,845			
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2003年度	3,758	3,825	3,840	3,845	3,813
2004年度	3,844	3,844	3,840	3,845	3,843
2005年度	3,845	3,846			

(注1)：本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。

千本当税抜売上高 = { 販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税(国税) - たばこ税(地方税) - たばこ特別税(国税) } / 販売数量 × 1,000

5. 四半期別シェア

(単位：%)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2003年度	73.0	72.9	72.7	73.1	72.9
2004年度	73.0	73.0	72.7	72.7	72.9
2005年度	69.6	65.4			
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2003年度	67.3	66.6	66.6	66.7	66.8
2004年度	66.7	66.6	66.4	66.1	66.5
2005年度	66.1	65.5			

伸張セグメントシェア

1. 四半期別タール1mgセグメントシェア

①JT タール1mg製品市場シェア (単位：%)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2003年度	6.6	7.3	7.3	7.9	7.2
2004年度	8.3	8.2	8.6	8.9	8.5
2005年度	10.6	11.7			
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2003年度	8.7	9.3	9.2	10.0	9.1
2004年度	10.4	10.3	10.7	11.1	10.6
2005年度	11.3	11.7			

②セグメント内シェア (単位：%)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期
2003年度	43.0	45.8	45.6	47.6
2004年度	47.5	46.9	47.3	47.5
2005年度	55.7	60.4		
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期
2003年度	56.5	58.6	57.6	60.2
2004年度	59.6	58.6	59.0	59.4
2005年度	59.7	60.4		

2. 四半期別メンソールセグメントシェア

①JT メンソール製品市場シェア (単位：%)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2003年度	7.0	7.5	7.6	8.4	7.6
2004年度	8.6	8.6	9.0	9.3	8.9
2005年度	8.1	6.5			
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2003年度	4.2	4.3	4.5	5.2	4.5
2004年度	5.6	5.5	5.8	6.1	5.7
2005年度	6.3	6.5			

②セグメント内シェア (単位：%)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期
2003年度	49.5	49.9	49.4	52.4
2004年度	51.7	51.1	52.0	52.5
2005年度	45.1	34.4		
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期
2003年度	29.4	28.9	29.5	32.3
2004年度	33.2	32.4	33.8	34.4
2005年度	34.7	34.4		

3. 四半期別300円以上製品セグメントシェア

①JT 300円以上製品市場シェア (単位：%)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2003年度	10.5	11.1	11.2	11.8	11.1
2004年度	11.7	11.8	11.5	12.1	11.8
2005年度	8.8	5.1			
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2003年度	4.3	4.4	4.6	5.1	4.5
2004年度	5.0	5.1	4.8	5.1	5.0
2005年度	5.1	5.2			

②セグメント内シェア (単位：%)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期
2003年度	51.1	52.5	52.8	54.2
2004年度	53.9	53.8	52.8	53.6
2005年度	39.1	22.2		
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期
2003年度	21.2	20.8	21.5	23.2
2004年度	23.2	23.0	22.2	22.8
2005年度	22.6	22.3		

4. 四半期別D-spec製品シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2003年度	0.04	0.13	0.54	0.91	0.38
2004年度	0.91	0.95	0.90	0.94	0.93
2005年度	0.91	1.24			

医薬事業 臨床開発品目（2005年10月31日現在）

開発名	開発段階	適応症	作用機序	詳細	開発	権利
JTT-705 （経口）	国内：Phase1	脂質代謝異常	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）阻害	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる脂質代謝異常治療薬	自社開発	スイスのロシュ社と日本・韓国を除く全世界の開発・商業化権を導出するライセンス契約を締結。（2004年10月）
JTT-130 （経口）	国内：Phase2 海外：Phase1	高脂血症	MTP（マイクロソームトリグリセリド転送蛋白）阻害	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる高脂血症治療薬	自社開発 自社開発	
JTK-303 （経口）	国内：Phase1	抗HIV	インテグラーゼ阻害	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害するインテグラーゼ阻害剤	自社開発	米国ギリアド・サイエンズ社と日本を除く全世界の開発・商業化権を導出するライセンス契約を締結（2005年3月）
JTT-302 （経口）	海外：Phase1	脂質代謝異常	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）阻害	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる脂質代謝異常治療薬	自社開発	
JTT-305 （経口）	国内：Phase1	骨粗鬆症	カルシウム感知受容体（CaSR）拮抗	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する骨粗鬆症治療薬	自社開発	

前回（2005年8月1日）公表時からの変更点：JTE-607の開発中止